

「シャープペンシル」の再発明

2018 年度 竹園 中学校 9年3組 1班

これまでの問題点（現在ある製品の課題など）

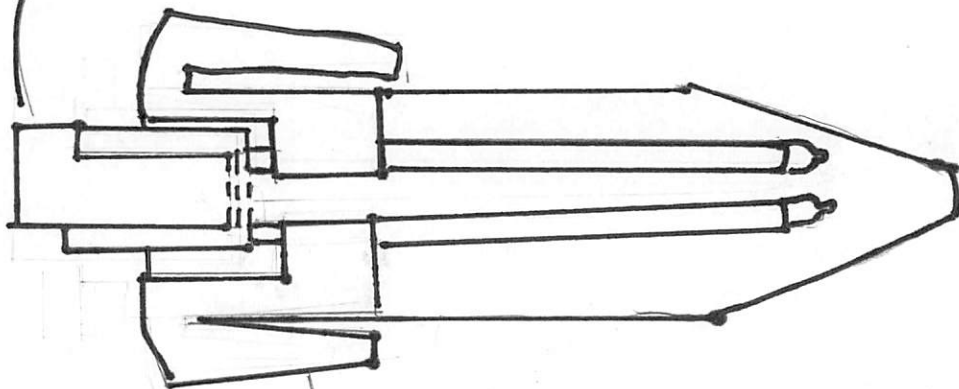
シャープの芯がなくなるたびに新しい芯を入らなければならない。

再発明した製品の説明（要約）※図と文章で簡潔に説明すること！



芯をストックする事で長期的に使う！

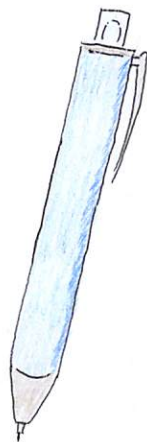
「ストックシャープペンシル」



参考にしたもの、(この再発明を考えるきっかけになった製品やアイデアをできるだけ具体的に書く！)

シャープペンシル

・現代のシャープペンの問題点



- ・シャープペンの芯が少ししか入らない
- ・入れる口が小さいため、入れづらい



入れる手間が多く、面倒



・解決策

シャープペンの芯が少ししか入らない



多色ペンのように沢山シャープペンをつける

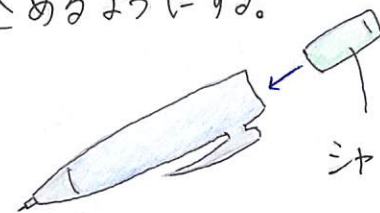


全てシャープペン

入れる口が小さいため、入れづらい



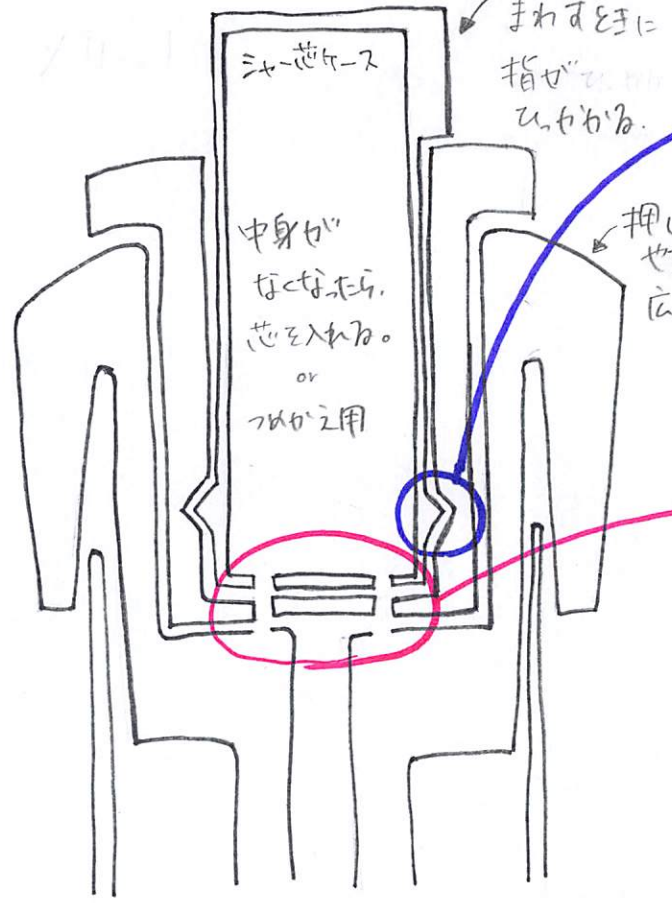
シャープペンの芯のケースをシャープペンに差し込めるようにする。



シャープ芯ケース



構造



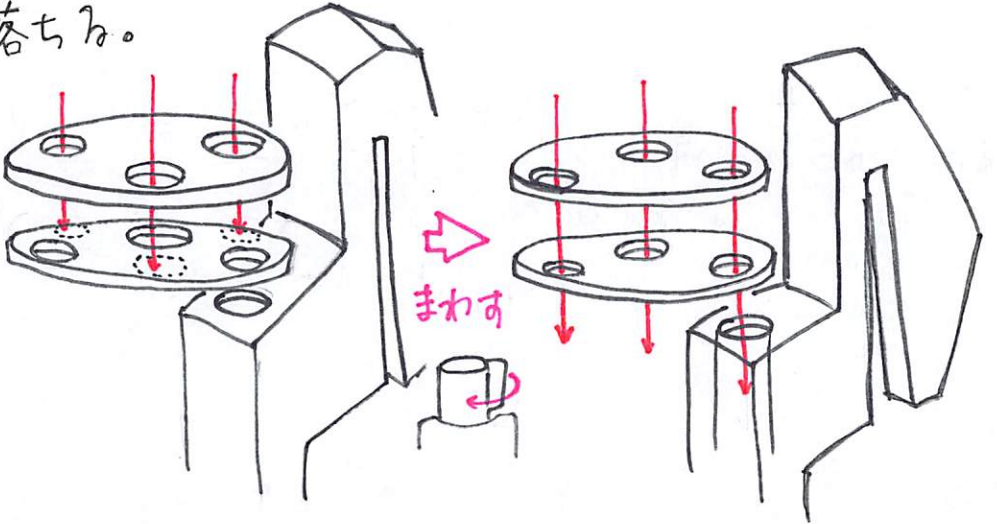
まわるときに
指が
ひかれる。

押し
やすきは
広がる

中身が
なごたら、
芯を入れる。
or
つかえ用

- シャ-芯ケースと本体に凹凸 → カチとはまてはまらない。
(油性ペンなどのキャップと同じ)
- シャ-芯ケースと本体、ペンにシャ-芯1本くらいの穴がある。シャ-芯ケースをまわすことでシャ-芯がペンの中へ落ちる。

シャ-芯
ケース
本体



本体とシャ-芯ケースには
6ヶ所の凹凸がある。
まわすことで次の凹凸で止まる。



ペン先の構造は
77色ペンについているシャ-ペンと同じ。

※ここに書かれたアイディアは、個人名を削除した上で、Webなど様々なメディアに公開されます。